

# ドキシソルピシン+イホマイド療法を受けられる患者さまへ

## 【治療スケジュール】

| 薬品名（成分名）       | 日にち | 1-2日目 | 3-5日目 |
|----------------|-----|-------|-------|
| ドキシソルピシン       |     | ●     |       |
| イホマイド（イホスファミド） |     | ●     | ●     |

☆ドキシソルピシンは赤色をしており、治療後に尿が赤くなることがあります。

## 【点滴予定】

| 1日目   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|    | 11～17 時頃<br>生理食塩液 500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン  |    | 11 時半頃より<br>グラセトバグ：吐き気止め<br>デキサート：吐き気止め |   |
|   |   |    | 13 時頃<br>アプレピタント 125mg<br>1回 1 カプセル     |   |
|   | 17～23 時頃<br>ソルテム 3A500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン |  | 14 時頃より<br>生理食塩液 50mL<br>ドキシソルピシン       | <br>14～18 時頃<br>生理食塩液 500mL<br><b>イホマイド</b>                |
|  | 23～5 時頃<br>ソルテム 3A500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン  |  | 17 時頃より<br>グラセトバグ                       |   |
| 2-6日目   |   |   |   |   |
|  | 11～17 時頃<br>生理食塩液 500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン  |  | 7 時頃より<br>グラセトバグ<br>デキサート               |   |
|  | 17～23 時<br>ソルテム 3A500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン  |  | アプレピタント 80mg<br>1回 1 カプセル<br>1日 1回 朝食後  |   |
|  | 23～5 時<br>ソルテム 3A500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン   |  | 14 時頃より<br>生理食塩液<br>ドキシソルピシン<br>(2日目まで) | <br>14～18 時頃<br>生理食塩液 500mL<br><b>イホマイド</b><br><br>(5日目まで) |
|  | 5～11 時<br>ソルテム 3A500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン   |  | 17 時頃より<br>グラセトバグ                       |   |

| 7日目   |   |   |                            |
|---|---|---|----------------------------|
|  | 11～17 時頃<br>ソルテム 3A500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン |  | 7 時頃より<br>グラセトパック<br>デキサート |
|  | 5～11 時頃<br>生理食塩液 500mL<br>ウロミテキサン<br>メイロン   |   |                            |

## おもな副作用

### ★★吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振★★

消化管（口、胃、腸）の粘膜や、脳の中枢を刺激することによって起こります。数時間後に始まることが多いようですが、人によって数日間続く場合もあります。つらいときは我慢せず、早めに言いましょう。

### ★★アレルギー反応★★

薬に対する過敏反応が起きることがあります。点滴中に、息苦しい、胸が痛い、心臓がドキドキする、顔がほてる、汗が出る、発疹が出る、などの症状があったら、すぐに連絡しましょう。

### ★疲労感・倦怠感（だるさ）★

### ★味覚異常★

### ★★骨髄抑制（白血球・ヘモグロビン・血小板の減少）★★

血液中の細胞成分は白血球・赤血球・血小板の3種類で、骨髄で造られ、化学療法の副作用により骨髄の機能が低下し減少します。

白血球・血小板は、7～14日で最も減少します。

|                         | 対 応  |
|-------------------------|--|
| 白血球(WBC)<br>(好中球: NEUT) | 白血球(好中球)は、細菌から体を守る働きをしていますので、白血球が低くなると体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。マスクをしたり、手洗いやうがいをして感染を予防しましょう。徐々に回復しますが、回復が遅い場合は G-CSF 製剤（早く血球を増やし、成熟させる薬）を使用することもあります。 |
| ヘモグロビン<br>(Hb)          | 赤血球の中のヘモグロビンは酸素を体中に運ぶ役割をしており減少すると、貧血の症状（動悸・めまい・息切れ・頭痛・倦怠感・立ちくらみなど）が現れます。ヘモグロビンが かなり下がると赤血球輸血をすることがあります。  |
| 血小板<br>(PL)             | 血小板は、血を止める働きがあります。血小板が5万より減少すると、出血しやすくなります。(血が止まりにくい・鼻血が出やすい・青あざがでやすい。)血小板がかなり下がると血小板輸血をすることがあります。   |

### ★★口内炎★★

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることがあります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

### ★★下痢、便秘★★

#### ★脱毛★

薬によって、髪が抜けるものと抜けないものがあります。また、髪の抜け方に個人差があります。治療後2～3週間あたりから毛が抜け始め、髪以外の部分（体毛・眉毛・陰毛）でもおこります。治療が終了して6～8週間には毛が生え始め約半年でほぼ回復します。

### ★★間質性肺炎★★

空咳・息苦しさ・息切れ・発熱等の風邪のような症状がでた時は、すぐに医療スタッフに伝え下さい。

#### ★出血性膀胱炎★

血尿や排尿時に痛みがあれば申し出て下さい。  
予防のために以下の点滴をします。

- ・ウロミテキサン

→イホマイドによる膀胱の障害（イホマイドの副作用）を予防・軽減するために、点滴します。

- ・メイロン→尿をアルカリ化します。

- ・ソルデム3A、生理食塩液などの輸液：尿量を確保するために使用します。

#### ★脳症★

頭痛、もうろうとした感じ、強い眠気等が現れたら申し出て下さい。

#### ★心機能障害★

動悸や頻脈が起こったり脈がとんだりすることがあります。

上記のような副作用が主に挙げられますが、必ずこれらの副作用が起こるわけではなく、個人差があります。副作用をおさえる薬もありますので、気になることがあれば何でも伝えてください。

